



多文化共生・地域交流事業

きずな号

# かんちゃんホットルーム 号外

2020年6月5日発行

新型コロナウイルスの影響によって、3月から「かんちゃんホットルーム」（主催：かんちゃんの小さな家、共催：安土まちづくり協議会）は中止していますが、再開後の「かんちゃんあそび村」に向けて「手づくりのおもちゃ」を募集したところ

## 地元のおじいさん、おばあさんから すてきなプレゼントが届きました♪

あそび心をくすぐる  
手づくりのおもちゃ

♡2ページも見てね

「子どもたちが これ何やる?・・・って  
いろいろ考えてあそびはじめる。  
そこが楽しいのよね♪」【おばあさんより】



ころころあそび



ふしぎなひも



バランスゲーム

「かんちゃんホットルーム」  
再開！再会♪は7月から

◇予定・内容

7月18日（土）「かんちゃんあそび村」

8月 「ヨシを使ったクラフト」

◇会場：安土コミュニティセンター

※これは6月当初の予定です。「新型コロナウイルス感染防止対策」のもとで開催します。これまでのスタイルを大きく変更することをご了解ください。安全で安心して参加できる「ホットルーム」に向けて、皆さまのご意見や当日の運営面でのご協力をお願いします

「相談ルーム」は、6月から再開しています。お気軽に声をかけてください。  
(6ページをご覧ください)



全国に「緊急事態宣言」が出され「休校の延長」「ステイホーム」のゴールデンウィーク・・・この間、「かんちゃんの小さな家」では「子どもたちの様子」や「みんなの思い」を交流する取り組みをすすめてきました。(3～6ページ)

# 楽しみだね かんちゃんあそび村♪

## 子どももおとなも楽しめるよ♪



### うわ〜っ6段だ!

ヨーグルトの容器に広告の絵などを貼り付けてカラフルに♪容器をたてにしたり、横にしたり、いろんな積み方が!さて、もっと高く積むには…?



### 「不思議なひも」(サララップの芯(しん)とひもが材料)

黙って置いておくと、子どもたちは「なんやろ?」と思って、長く出ているひもを引っ張ると…あれっ?あれっ?あれっ?って、あちこちのひも引っ張り始はじめるのですね♪だれでもおもしろく遊べる。どうしてそうなるのって?それは…どうしてかな(^♪ [おじいさんより]



### 好きなあそび 考えてね♪

お手玉遊びも楽しいし、ころころ転がして遊んだり、高く放り投げてキャッチしたり…。ボーリングにすると、突起があるので思ったとおりに転がらないかも。それが楽しいね!それとね、強くキャッチするとつぶれるからやさしくね! [おばあさんより]

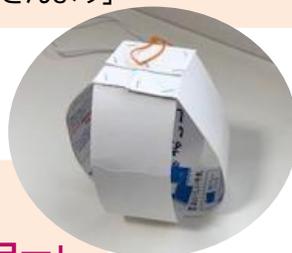


### 手づくりのビー玉ゲーム盤

ゲーム版は、ビー玉の大きさに合うホースを選び、5ミリ幅で切っていきます。37のリンクを空箱のふたなどを利用して貼りつけます。5セットいただきました♪あそび方は?ルールは簡単です。でも、最後の1個になるには…なかなか、むずかしいよ🍀

### 牛乳パックで

### 作った「ヨーヨー」



### 数字カードゲーム

### これっ びっくり箱だよ!

6箱分の牛乳パックを使って出来上がった手作りの「びっくり箱」!子どももおとなもだれもが楽しめる…かんちゃんも、思わず「わわわわわわ〜」って声が出たよ🍀【これは昨年12月、「ひよっこクラブ」の方からのプレゼントです。】



## 一斉休校延長！ “ステイホーム”ウィーク



# 分散登校→学校再開！

皆さまからの「こえ」「思い」を届けててください。引き続きお待ちしています！！



新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月の初めに“いきなり休校”に！その後、全国に「緊急事態宣言」が出され「休校の延長」、4月末からのゴールデンウィークは“ステイホーム”ウィークに・・・。

「かんちゃんの小さな家」では、みんなで遊んだり、世界や地元の食事を楽しんだりできなくても、「ひとりじゃないよ！」「つながってるんだよ！」・・・との思いを込めて、『交流の広場』にメッセージをよびかけてきました。市内外からいただいた皆さまからのメッセージは、「かんちゃん通信」(4月)に続く第2回目を、今回の「号外」で「交流」していきたいと思えます。(4～6ページに続きます)



## おうち お家からの



◇お休みの期間が長く、だんだん退屈な日々を送る子どもたちです。毎日ゲームをしています。ゲームの中で、会話ができます。常に一緒にいる感じです。ゲームをしなくても、LINE で連絡をとりあっています。今どこにいるか？わかるというアプリも、高校生には人気のようです。時代の流れを感じます。コロナ期間、ネット社会が加速しているように思います。(5月6日)

◇子どもが兄弟げんかの毎日、うんざりしています。休校が長引き、学校からの課題だけで、学習の遅れ、学力の低下が心配です。(5月5日)

◇息子二人が休校で時間ができて、時間と気持ちにゆとりが出たのか、一緒にじゃれたり、将棋をしたり、前のように遊び始めました。二人で笑い声をあげていると、とてもうれしく思います。家族それぞれ時間と仕事や課題に追われて、個人としての生活になっていたなと思いました。(5月7日)

◇地球は一つ！グローバル！と連帯を広めて活動してきたのに、ウイルスも広まるのはアツという間でした。このままでは、元の活動ができる日がいつ来るか、正直不安です。暮らしの応援ができるような活動があれば声をかけてください。(5月6日)



◇学校から、登録している私の携帯に、子どもの宿題などの連絡が入ります。でも、兄弟いっぺんには見られないのでけんかに！勉強は教えなあかんし、もう大変！時間や日をずらせて登校させるとか、考えてもらえないのかなあ。(5月7日)



◇はじめまして。チラシを見てメールしました。小学1年と小学3年の子どもが2人います。下の子は今春、小学校に入学しましたが、入学式の翌日から休校になりました。学校生活をとても楽しみにしていたので残念です。家では兄と遊んでいます。こんな時でも、みんなとつながっている、一人ではないと感じることはとても大切だと改めて感じました。一日でも早く日常に戻れればと思います。「かんちゃんホットルーム」の案内チラシ楽しみにしています。(5月4日)

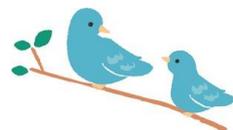
◇学校側から Zoom の授業・・・4月は少しずつですが慣れてきました。ノートの作り方などの動画は助かりました。連休明けから Zoom で8時半に朝礼が始まるので、6時には起床することに。「休校中は、がまんの時なのだ」と思って、自分のできることをがんばっているようです。(5月5日)

**“子どもたちは、休校中の生活を背負って登校しています”**

～再開後、不安に思っていること・気になること・・・お気軽にお寄せください！～



## たんぽぽ安土教室より



たんぽぽ安土日本語教室ボランティア 岩元雪子さん

### 「ゴールデンウィーク、おうちで なにしていますか？ おしえてください」

「たんぽぽ安土教室」の学習者さんに、アンケート「ゴールデンウィーク、今どうしている？」（長期にわたる生活面での制限について、外国人の方々が“どのような不安を抱えているのか”について）をお願いしましたところ、7名の方から回答をいただきました！貴重な「声」「思い」を届けていただき、ありがとうございました。その内容の一端と「安土日本語教室」の様子を簡単ですが紹介します。

#### Q1. ゴールデンウィークは 何をしていますか？

家で掃除しています。／コロナウイルスですから、ゴールデンウィークのあいだに 外に出かけることができません。／家にいます。／いつものとおり仕事と家の事をしてます。

#### Q2. コロナで心配していることはありますか？

仕事なくなるかもしれません。（複数）／こどもの学校が休みなので、どうやって勉強させればよいですか！／あります。工場とスーパーしかいけません 😞／どこにも出かけられません／日本語のニュースが わかりません。

#### Q3. 日本語教室は、5月も休みです。オンラインでしゃべったり勉強したりしたいですか？

はい。Yes, please.（複数）／3月から仕事は／

／夜勤ですから、休みの日は昼まで寝ます。私は日本語を勉強したいですが、皆さんと勉強することができません。／ビデオで勉強するならば、私は長い時間出来ません。プライバシーの部屋がありません 😞

・・・安土日本語教室のようす・・・

3月から教室が長らく閉鎖しています。対面での学習ができない状態ですので、外国人の方がオンラインでの日本語学習を希望されているかどうかとも聞きました。4月から、4名の希望者にメッセージを使って、オンライン学習を始めました。また、安土教室のグループフェイスブック内でクイズを投稿し、オンラインを活用した日本語学習の工夫をしています。



## 山下英三郎さんより



「家の中で子どもたちがどう過ごすか」というような観点からではなく、  
「表で遊んだり、他者と交流する機会をどう作り出していくか」  
という発想で工夫をしていくことが必要です！



「休校中の子どもたちの声・様子」をはじめ、感じていることをお聞きする活動のなかで、山下英三郎さんには、活動へのアドバイス（「新型コロナ禍での活動の基本的な視点等について」）をお尋ねしました。さっそく、次のようなメッセージをいただきました。山下英三郎さんは、日本スクールソーシャルワーク協会の名誉会長で、現在、長野県で『NPO 法人コスモス村 代表』をされています。これまでに、「スクールソーシャルワーク研究会しが」の講座や修復的対話（RJ）の研修会で講演をお願いしてきました。

僕がこの間考えていることは、子どもたちに家の中で過ごすことを求め、外遊びを禁じるなどのやり方は、ある意味では虐待だということです。遊びと外気に触れ続けることは、子どもたちの生存にとっては不可欠だと考えているので、そうした機会を奪い続けることは、あとで必ず何らかの形で影響が出てくると思っています。

そういった意味では、「家の中で子どもたちがどう過ごすか」というよく言われているような観点からではなく、「具体的に彼らが表で遊んだり、他者と交流する機会をどう作り出していくか」という発想で工夫をしていくことが必要だと思っています。

外国籍の方たちなどにとっては、外部との交流の機会が閉ざされることは、拘禁されているような感覚にとらわれるでしょうから、さらに必要性が高いですね。感染リスクを配慮した行動はもちろんいうまでもありませんが、過剰な予防策は精神を圧迫して、かえって負の影響の方が大きいように思っています。とにかく、僕自身は“子どもたちを閉じ込めては弊害が大きすぎる”ということを前提にして、行動や活動を組み立てることが重要だと考えている次第です。

長野県富士見町 山下英三郎さん



# “子どもたちや保護者・地域の皆さまへ”

## 友の会より

かんちゃんの小さな家



### 人とつながると元気が出ます！

コロナの影響で、今までのように自由な動きができなくなりましたね。

友達と会えない、外でみんなと思いきり遊べない、かんちゃんの家に気軽に行けない、せっかくお友達になった人とこれからどうなっていくのかな。不安になりますね。

私は、パーキンソン病という体がだんだん動きにくくなる難病になりました。20年たって、当たり前ができる「ご飯を食べる、トイレに行く、お風呂に入る、歩く」ことが、お薬が切れるとピタッとできなくなってきました。一人で自由に外へ出ることは難しくなってきました。でも、今は、同じ病気で苦しんでいる仲間や、それを応援してくれる医療従事者の方たちと、パソコンのonlineシステムを利用して、リハビリ運動をしたり、困ったときの知恵を出し合ったり、情報交換をしたりしています。人とつながると、元気が出ます。だんだん調子もよくなってきました。

今までの経験を大事にして、これからどうしようか、参加しているみんなで知恵を出し合えるといいですね。「かんちゃんの家」と関わる全ての人たちに、エールを送ります。

(東京の応援団より)

### 子どもは、わいわい、がやがやが大好き！

いつも「かんちゃん通信」など送っていただき、誠にありがとうございます。毎回、ころあたたまる内容・・・「通信」の子どもたちの声・・・子どもは、わいわい、がやがやが大好き。その機会を奪うコロナを恨みます。

皆様のご安全とご健康をお祈り申し上げます。

(長浜市)

### みなさんのおかげで

### 元気で過ごせています！

私には、一生治らない難しい病気があります。お医者さんから、風邪をひくだけでも命取りなので、気をつけるようにとされています。ですから、コロナがこわくてたまりません。

今、私が感染せず、元気に過ごしているのは、みなさんが、たくさんがまんをして、家にいてくれているからだと思っています。ありがとうございます。早く元の生活にもどれるよう、もう少しの間、みんなでがんばりましょう。

(神戸市)

### 畑で土をさわっていると

### 心が落ち着きます！

コロナで週末のイベントがなくなったり、友人と気軽に集えなくなったり、今までの当たり前の生活が、がらっと変わって戸惑いました。

ですが、今は家族ですごす時間、家のことや手仕事、畑に取り組む時間が前よりも増え、これはこれで豊かな時間だと思っています。

医療関係者の皆様の苦労は察しきれませんが、今わたしにできることは、自分自身で気をつけられることをしっかりして、元気でいること、と思っています。

工夫していることは、ニュースを適度に見る(見すぎない)ことと、太陽を浴び、土と触れる時間を積極的にもつことです。太陽の光を浴びていないと、夜なかなか寝付けません。

畑で土をさわっていると、心が落ち着きます。

元気にこの事態を乗り越えて、また皆で笑って会える日が来ますように！

素敵な取り組み、ありがとうございます。

(日野町)

☞6ページに続きます

2017年4月結成の「友の会」・・・地元の方々をはじめ、市内、県内、県外各地の皆さまからの物心両面にわたる心強いサポートによって、「かんちゃんの小さな家」の活動や事業が支えられています。今回も“心のこもったメッセージ”を届けていただき、ありがとうございました！

## 相談会のご案内

### かんちゃん と まい子さんの 子ども・若者相談ルーム

子育てや学校生活・卒業後の進路等で  
困ったこと、気になることがあれば  
声をかけてください

7月11日(日) 13:00~17:30

8月26日(水) 13:00~17:30

9月20日(日) 13:00~17:30

◇定例日以外は、個別に相談に応じます。  
保護者・支援の方の相談も可(要予約)  
事前のお問い合わせ先(かんちゃんの小さな  
家携帯090-3708-3315)



## 学びのご案内

### 子ども支援学習会

第35回学習会 9月20日(日)

◇会場 かんちゃんの小さな家

◇時間 10:00~12:30

◇事前の申し込みが必要です

## スクールソーシャルワーク研究会しが 9月例会のご案内

◇会場 かんちゃんの小さな家

◇時間 10:00~12:30

◇事前の申し込みが必要です

## 「かんちゃんの小さな家 友の会」

よろしくお願ひします

個人会員1口 2,500円・団体会員1口 10,000円

友の会・活動支援カンパの振込口座

振込先銀行 滋賀銀行 安土支店

口座種別 普通 口座番号 403489

口座名称 かんちゃんの小さな家

## 交流会のご案内

### かんちゃんホットルーム



◆参加費: 子ども 100円・おとな 300円

第45回 7月18日(土)

10:30~12:15

会場 安土コミュニティセンター

内容 かんちゃんあそび村(その4)

お昼は、お弁当を持って帰ってまいります。

第46回 8月22日(土)

10:30~12:15

会場 安土コミュニティセンター

内容 西の湖のヨシを使ったクラフト

ヨシ灯りを作ろう!

お昼は、軽食を持って帰ってまいります。

※事前の申し込みをお願いします。

◇コロナ感染予防対策をしながら開催します。

◇当面は、30名規模(スタッフ除く)を予定  
しています。定員になり次第、受付けを終了  
します。ご了承ください。

◇会場の消毒はもとより「3密」を避けたコー  
ナーの配置や換気等をおこないます。参加者  
の皆さまには、マスクの着用、検温、手指消  
毒の徹底、参加者名簿へのご協力等、  
よろしくお願ひします。

## せせらぎ(編集後記)

かんちゃんは、皆さまからの「声」に「なるほど」と  
うなづいたり、届けられた贈り物やメッセージに励  
まされたり、教えられたり! 何度も読み返すうち  
に、こころが動き出し♪いつの間にか「通信・号外」  
になりました! 子どもをまん中に、思いを深く共有  
していくことを願いつつ、コロナ禍中の「かんちゃ  
んホットルーム」の“つながり(絆)”を『社会的宝  
物』にしていきたいです。(か)

♥「かんちゃんの小さな家 ホームページ」

<https://kancyan-house.com/>



ホットフィールド 子ども・若者支援 ヒューマンネット

## かんちゃんの小さな家

〒521-1351 滋賀県近江八幡市安土町常楽寺956-2

携帯 090-3708-3315(代表 佐子) FAX 0748-46-3283

e-mail srmq61299@nike.eonet.ne.jp

